

災害が多発する今、いざという時に大きな力となるのは、地域での支え合いやつながりです！

地域福祉講演会 2026

楽しく学ぶ天気のお話 ～みんなで備えて、地域で支える～

減災から学ぶ地域共生社会

自然災害による被害を少しでも減らすために、

異常気象や
自然災害への
知識

命を守るため
の備え

地域で
支え合う力

一緒に考えてみませんか？



令和8年

【日時】 11月28日（土）10:30～12:00（開場10:00～）

【会場】 アルカス SASEBO 1階 イベントホール

【参加費】 無料

【申込み】 事前申し込み不要

こどもからおとなまで
どなたでも参加 OK！
たくさんのご参加を
お待ちしております！

【主催】 佐世保市・佐世保市社会福祉協議会

【後援】 佐世保市民生委員児童委員協議会連合会・佐世保市福祉六団体連合会
させぼ防災ネットワーク・佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会
長崎国際大学・長崎短期大学・生活協同組合ララコープ・FMさせぼ（順不同）

お問い合わせ先

佐世保市社会福祉協議会
地域福祉課 0956—24—1695

※ホームページに情報を掲載しています→
www.sasebo-shakyo.or.jp



講師紹介

くぼ てんき 氏



<プロフィール>

1983年生まれ、大阪府出身。

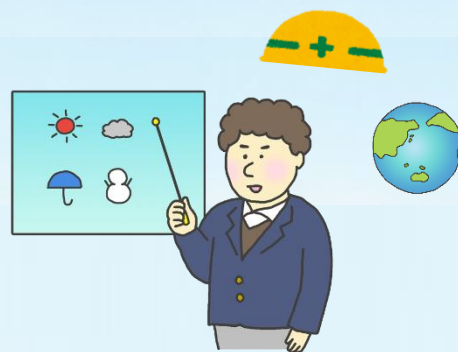
気象予報士、防災士の資格を持つ紙芝居師。

東京都が認定する大道芸人へブンアーティストのライセンスを持つ。

小学校・商業施設・イベントなどで、「天気」「環境」「防災」をテーマにした出張紙芝居や出前講座、講演、ワークショップなどを行う。二児の父。

<出演メディア>

・日本テレビ「ZIP!」 など



なぜ今、「減災」と「地域共生社会」なの？

近年、地震や豪雨などの自然災害が頻発する一方で、少子高齢化や地域のつながりの希薄化など、私たちを取り巻く社会環境は大きく変化しています。こうした時代だからこそ大切なのが、災害による被害をできる限り小さくする「減災」と、誰もが支え合い安心して暮らせる「地域共生社会」の実現です。

まずは気象や防災について正しく学び、災害への備えや命を守るための知識を深めることが大切です。そのうえで、日頃の備えを見直すきっかけにするとともに、一人ひとりの防災意識を高め、地域での支え合いへとつなげる「いざという時に助け合える地域づくり」や「誰もが安心して暮らせる地域共生社会」について考えます。

会場アクセス

アルカス SASEBO
(1階 イベントホール)

〒857-0863
佐世保市三浦町2-3

※お車でお越しの方は、
近隣の一般駐車場を
ご利用ください。

